

猿橋  
小学校

瑛玖良

瑛玖良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

## 一番目の「校宝」

校長 澁谷 一男

観測史上最速の言われた今年の桜の開花。果たして、新年度初日は、あいにく見頃を過ぎていた。それでも、2年生が植えたチューリップ、児童玄関のビオラ、花壇の水仙など、色とりどりの草花が子どもたちを迎えてくれた。

春爛漫、心浮き立つ季節に、元気な子どもたちの声に戻って来た。



猿橋小学校には「校宝」として大切に受け継がれているものがある。平成5年、創立120周年の折に制定された校宝は、次の五つである。

- ①「瑛玖良校」の額……明治15年、開校に際し、玄関に掲げられていた額。揮毫は、当時のきごう県令（現在の県知事）永山盛輝氏によるもの。
- ②鬼瓦……明治41年、前の校地に新築移転した校舎の鬼瓦。昭和31年まで使用されていた。
- ③校旗……大正11年、学制発布50年を記念して作成された校旗。桜花に「学」の文字を配した珍しい図柄。
- ④旧校門……昭和8年、中曾根の諸橋忠徳氏から寄贈された旧校舎の校門。現在の駐車場入り口に立っている。
- ⑤希望の像……昭和38年、創立90周年記念事業として建立された像。現在も芝生広場で日々、子どもたちを見守っている。

いずれも校長室や校長室前廊下に紹介されている。中には表示や解説のないものもあるので、ある日、校長室にやってきた子どもに、「一番目の校宝って何ですか。」と尋ねられた。私が一瞬答えあぐねていると、その子は、「分かった！猿橋小学校の子どもたちじゃない？」と言うではないか。何と素敵な答えだろう。これ以上の「校宝」があろうか。「そうだね。そのとおりだ！」とその子に返し、後ほど「瑛玖良校の額」と伝えた。

春のうららかな陽光の下で行われた今年の入学式。112名の新たな「校宝」を迎え、全校児童675名で新年度がスタートした。

教職員の異動も大規模だった。21名の転入職員を迎え、総勢71名。全教職員が一丸となって、一人一人の子どもたちの成長を全力で支えていく。

今年度も皆様の御理解と御協力をよろしく申し上げます。